

平成26年度上半期中小企業振興施策の実施状況

| | |
|------|---|
| 市の施策 | 中小企業振興のためのアクションプラン |
| 期間: | 平成25年度から平成29年度までの5年間 |
| 目標: | 平成29年度における市内総生産(その年度において兵庫県が公表する最新の数値)を平成24年度の市内総生産と比較して5パーセント増加させる |

三木市中小企業振興条例第4条に規定する施策

(1) 経営の革新及び経営基盤の強化並びに創業を促進するための施策

| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
|---|--------------------|--|---|--------------------|---|--|
| ア | 中小企業支援ネットワーク事業 | 中小企業振興のためのネットワークを構築し、専門相談員(中小企業診断士等)による相談等の支援を行います。 | ①相談、訪問件数 300件 ②経営セミナー開催件数 12回 ③起業件数 10件 | 2,083万円 | ・平成26年4月1日よりコーディネーター5名、週5日体制で中小企業サポートセンターを開設 ① 窓口相談238件、企業訪問377件 計615(9月末現在) ・産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、起業支援を強化 ② 起業セミナー開催9回 参加者35名 ③ 起業件数 5件(飲食3、食品製造1、介護サービス1) 今年度中に4件(飲食2、美容1、食品製造1) ※国・県の補助申請・融資を支援 ものづくり補助金(国)4件、創業促進補助金(国)4件、小規模事業者持続化補助金(国)3件、女性起業家補助金(県)2件の採択。創業融資3件(日本政策金融公庫2件、県1件)の実行 | 【課題】 ・企業ニーズの掘り起し、利用者増 【今後の取り組み】 ・企業訪問を継続、利用者満足度調査や支援実績の分析などの評価・検証 ・既存事業所向け経営セミナーを開催 ・起業セミナーを継続実施(10月4回、1月5回開催予定) ・専用ホームページを開設し市内事業所の情報発信 |
| イ | 地場産業振興事業 | 経済、産業団体等への運営助成や、三木金物を活かしたイベントの実施などにより、地場産業の振興を推進します。 | *** | 3,281万円 | ・三木商工会議所、吉川町商工会、三木金物商工協同組合連合会の事業運営を助成 ・市内全小学校において金物を使った体験教室を実施 ・ミャンマーヤンゴン市経済交流視察を実施 ミャンマー友好推進顧問の設置 | 【課題】 ・経済団体、産業団体と一体となった地場産業支援の推進 【今後の取り組み】 ・経済、産業団体への支援を継続 ・金物体験教室は本年度で6年目となり、次代の金物産業を担う人材育成を継続実施 ・友好推進顧問による事業所向け海外進出相談会の開催 |
| ウ | 商業振興事業 | 商業団体等の商業活性化のための取組への支援やイベントの開催などにより、商業の振興を推進します。 | *** | 529万円 | ・平成26年4月に「商業振興による地域活性化に関する条例を制定」 ・国の補助申請を支援、にぎわい補助金採択3件 まちづくり補助金採択3件 まちづくり補助金に市の上乗せ補助3件 ・明盛商店街において、第1回マルシェを開催 | 【課題】 ・商店街の組織力強化、商店街主体の活性化の推進 【今後の取り組み】 ・商店街組織の強化の取り組みや振興活動を支援 ・商店街でのマルシェの定期開催 |
| エ | 公契約条例 | 市が発注する公共事業やサービス(公契約)に関して条例で定めることで、適正な労働環境の確保や企業の競争力向上、経営悪化の防止を促進します。 | *** | *** | 5,000万円以上の公共工事及び1,000万円以上の委託契約について、労働報酬下限額を定め公共事業に係る労働者賃金の低下と下請け業者の経営悪化の防止を図っている。 | 【今後の取り組み】 ・広報みき、ホームページ等により条例を周知 |
| オ | 起業支援事業(女性の起業家支援事業) | 女性が起業しやすい環境づくりを進めるため、起業セミナーや勉強会を開催するなど、女性起業家を総合的に支援します。 | ①女性専門家による起業セミナーと女性起業家による講演会、サロンの開催 4回 ②起業件数 3件 ③起業支援補助制度の創設 | 197万円 | ① 女性起業セミナーを5月に1回開催済(12月に3回、3月に1回予定) ② 起業件数1件(食品製造1)、今年度中に2件予定あり ③ 起業支援補助制度(県の補助金の上乗せ補助)を11月より創設予定 | 【課題】 ・女性や若者の起業の促進 【今後の取り組み】 ・起業セミナー、相談、資金支援等を継続 |
| カ | 設備投資促進事業 | 市内中小企業の設備投資を喚起するため、機械、設備などの導入費用を支援します。 | 製造業の設備投資助成件数 15件 | 6,071万円 | 補助対象を製造業から全業種に拡大し、35件の申請があり、34件に支援した。 | 【課題】 ・設備投資支援の拡充、制度の認知度向上 【今後の取り組み】 ・設備投資需要は堅調であり、次年度も拡大継続 ・制度の説明会開催や中小企業サポートセンターの企業訪問により、情報提供を強化 |

| (2) 新たな産業を創出するための施策 | | | | | | |
|---------------------|------------------------|---|----------|--------------------|---|--|
| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
| ア | 観光振興事業 | 三木市観光協会と連携し、三木の歴史、文化遺産や特産品を生かした、特色ある観光の実現に向けた取組を進めます。 | 土産品開発 2件 | 100万円 | NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にちなんだ土産品開発 2件 (平成25年度は5件) | 【課題】 ・大河ドラマブームの後の観光客確保 ・歴史、文化遺産、産業資源等地域資源を活用した持続的な観光振興策 【今後の取り組み】 ・観光協会、まちづくり協議会、産業団体等と連携し、ツーリズムなどの企画 |
| イ | 農業の6次産業化推進事業 | 三木産ハーブを使用した新製品の開発や新たな販路の開拓を支援することにより、ハーブの6次産業化を推進します。 | *** | 337万円 | 市立農産物工房(ハーブ工房みきヴェルデ)を管理しつつ、三木市ハーブ産業推進協議会とともに、新製品の開発(17品目)やインターネット販売、商談会、各種催し出店など販路拡大を図っている。 | 【課題】 ・農業第6次産化に加え地産地消、農商工連携の推進 【今後の取り組み】 ・ハーブ工房の自立化に向け継続支援 ・別所ゆめ街道の「カフェテラス」や三木東インター付近ミニ二駅」の整備 ・中小企業サポートセンターによる農と商工のマッチング支援 |
| ウ | 起業支援事業(女性の起業家支援事業)(再掲) | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 |

| (3) 技術力、経営力の高度化を促進するための施策 | | | | | | |
|---------------------------|--------------|---|----------|--------------------|-----------------------|---|
| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
| ア | 特許権等取得助成事業 | 特許権の取得に必要な費用の一部を助成することにより、新製品や新技術の開発を促進します。 | 助成件数 10件 | 150万円 | 特許 4件、実用新案 5件、意匠登録 2件 | 【課題】 ・制度の利用拡大 【今後の取り組み】 ・制度の説明会開催や中小企業サポートセンターの企業訪問により、情報提供を強化 |
| イ | 設備投資促進事業(再掲) | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 |

| (4) 市内経済の循環を促進するための施策 | | | | | | |
|-----------------------|-------------|--|-------------|--------------------|---|------------------------------------|
| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
| ア | 住宅リフォーム支援事業 | 市内の施工業者を利用した住宅リフォーム工事の費用の一部を助成することにより、住環境の向上と地域内経済の循環を推進します。 | 助成件数 100件 | 4,600万円 | 9月末現在220件17,814千円、補助対象金額2億9,623万円であり、経済効果は約17倍となった。 | 【今後の取り組み】 ・継続的な需要があり、今後も継続 |
| イ | 若者世帯の新築補助事業 | 新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税と都市計画税の一部を助成することにより、若者世帯の転出抑制と市内への定住を促進します。 | 助成件数 180件程度 | 1,400万円 | 平成27年1月から3月に申請受付、対象者は140件程度の見込み | 【今後の取り組み】 ・広報みき、ホームページ等により制度を周知 |
| ウ | 公契約条例 (再掲) | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 |

| (5) 社会経済情勢の変化への適応を円滑化するための施策 | | | | | | |
|------------------------------|---------------------|--|-----------------------|--------------------|--|--|
| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
| ア | 中小企業融資対策事業 | 中小企業者への低金利での貸付などにより、中小企業の経営の充実に支援します。小規模無担保無保証人融資について、融資限度額及び利子補給並びに信用保証料補給を拡充します。 | 小規模無担保無保証人融資の実行件数 10件 | 2億2,888万円 | 全融資実行 75件522,840千円 うち小規模67件443,840千円(限度額1,000万円から1,250万円に拡充) 信用保証料補給(100%補給)67件15,073千円 利息補給(100%)59件約1,500千円 | 【課題】 ・中小企業の経済情勢への変化に対応した資金調達の円滑化 【今後の取り組み】 ・企業の資金需要は高く、信用保証料、利子補給の拡充を継続 |
| イ | 中小企業支援ネットワーク事業 (再掲) | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 |

(6) 情報収集及び発信を促進するための施策

| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
|---|--------------------|---|--|--------------------|--|--|
| ア | 中小企業支援ネットワーク事業（再掲） | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 | (1)に記載 |
| イ | 産業見本市事業 | 産業見本市の開催や出展に必要な費用を助成することにより、市産業のPRや販路の拡大を促進します。 | 各種見本市等開催、出展を支援 ①金物業界が地元開催する展示会 2件 ②国際的見本市 4件 | 2,880万円 | 以下の見本市等開催、出展に必要な経費助成をすることにより支援 ①三木金物商工協同組合連合会主催、ユーザー向展示会「鍛冶でっせ」(メッセ三木) ②日本DIYショウ(幕張メッセ) ③国際道工具EXPO(幕張メッセ) | 【課題】 ・金物業界への支援から全業種への拡大 【今後の取り組み】 ・全業種に向け対象業種拡大を検討する。 |

(7) 雇用の安定及び人材を育成するための施策

| | 事業名称 | 事業概要 | 年度目標 | 26年度事業費 (9月補正後) | 実施状況 | 課題と今後の取り組み |
|---|--------------------------|---|--|--------------------|---|---|
| ア | 地域職業相談室事業（三木市ふるさとハローワーク） | 西神公共職業安定所(ハローワーク)と連携した求職者への職業相談、職業紹介や、求人情報の提供により、雇用のマッチングを促進します。 | 職業紹介成功率 19%(H25年度実績) | 339万円 | 新規求職者数 997人、紹介数1,755人、採用者数 321人、紹介成功率 18.2% | 【課題】 ・三木市ふるさとハローワークの認知度向上 【今後の取り組み】 ・西神ハローワークと連携しPR |
| イ | 雇用・勤労者対策事業 | 求人求職面接会の開催や、介護職員初任者研修課程の受講費用への助成等により雇用状況の改善を図るとともに、勤労者の住宅建築、取得への融資のあっせんにより、勤労者の生活環境の改善を促進します。 | ①求人求職面接会の開催 2回 ②介護資格取得助成 30件 ③勤労者住宅資金融資 4件 | 1億6,771万円 | ①就職面接会を三木商工会議所と共催し1回開催した。 ②介護職員初任者研修課程修了者への受講料助成 16件 ③勤労者住宅資金融資あっせん件数、9月末現在での実績なし | 【課題】 ・市内企業への就業と定住の促進 【今後の取り組み】 ・若者世帯の新築補助事業と併せた住宅融資利用のPR ・面接会や助成制度の継続 ・ハローワークと連携し、介護施設現地見学会の開催 |
| ウ | ワークライフバランス推進事業 | 講習会の開催や情報の提供、企業の環境整備への補助などにより、ワークライフ・バランスの普及啓発を推進します。 | 企業の子育て等支援事業補助件数 8件 | 262万円 | 育児休業代替要員確保事業 1件 | 【課題】 ・制度の利用拡大 【今後の取り組み】 ・制度の説明会開催や中小企業サポートセンターの企業訪問により、情報提供を強化 |
| エ | 中小企業人材育成事業 | 経営者または従業員が中小企業大学校等で受講した研修等の費用の一部を補助することで、中小企業の人材育成を支援します。 | 補助件数 6件 | 10万円 | 平成27年1月から3月に申請受付、対象者は10件程度の見込み | 【課題】 ・制度の利用拡大 【今後の取り組み】 ・制度の説明会開催や中小企業サポートセンターの企業訪問により、情報提供を強化 |
| オ | 三木金物後継者育成事業 | 後継者の育成に必要な費用の補助や、技術継承セミナーの開催への補助を行うことにより、後継者の育成と技術の継承を支援します。 | 補助件数 ①親方の弟子育成事業 2件 ②工業組合実施技術継承セミナー 48回 | 682万円 | 補助対象事業の実施状況は、 ①鉋製造 1件 ②24回実施済(鋸目立て、鋸鍛接、包丁研ぎ、銘切) | 【課題】 ・三木金物の伝統的技術の継承 【今後の取り組み】 ・企業や組合の伝統技術の継承への取り組みを継続支援 |